

主要事業概要



上空からの徳田橋（盛岡市黒川～紫波郡矢巾町西徳田）

一般県道大ヶ生徳田線において建設が進められてきた「徳田橋」が令和6年3月に開通しました。

徳田橋は、一般国道4号と一般国道396号を結ぶ北上川に架かる橋梁です。平成23年の事業着手から13年の歳月をかけ建設されました。

盛岡広域振興局土木部

盛岡広域振興局土木部主要事業概要目次

《盛岡広域振興局土木部の業務概要》

1	盛岡広域振興局土木部の組織	1
2	盛岡広域振興局管内の予算概要	1
3	盛岡広域振興局所管の概要	1
(1)	概要	1
(2)	管理施設	1
4	土木部主要事業位置図	2

《盛岡広域振興局土木部の主要事業》

1 過去の教訓を踏まえた防災対策の推進

(1)	河川の氾濫による浸水被害等を未然に防止する河川施設の整備	
①	一級河川岩崎川 広域河川改修事業（矢巾町北矢幅）	3
②	一級河川木賊川 広域河川改修事業（滝沢市穴口）	4
③	一級河川北上川・松川広域河川改修事業（盛岡市玉山）	5
(2)	緊急輸送道路等の橋梁耐震補強の推進	
①	主要地方道盛岡横手線夕顔瀬橋橋梁補強事業	6

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備

(1)	市街地の円滑な交通の確保	
①	都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区街路事業（盛岡市盛岡駅西通二丁目～本宮）	7
②	一般県道 矢巾停車場線 又兵エ新田地区 無電柱化推進事業（矢巾町又兵エ新田）	8
(2)	高齢化社会に対応した県営住宅の建替え・改善の推進	
①	公営住宅建設事業（県営緑が丘アパートリフレッシュ工事）（盛岡市緑が丘三丁目）	9
(3)	歩道整備や歩行空間確保の推進	
①	一般県道 古館停車場線 中島地区交通安全施設整備事業（紫波町中島）	10
②	主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区 交通安全施設整備事業（盛岡市浅岸）	11
③	一般国道 456 号・主要地方道紫波江繋線 星山地区道路改良事業（紫波町星山）	12
(4)	過去に整備された橋梁の長寿命化の推進	
①	主要地方道 盛岡横手線 新田町跨線橋 橋梁補修事業（盛岡市新田町）	14

3 産業経済活動を支える交通ネットワーク整備

(1)	県央圏域内外との交流を促進するネットワークの整備	
①	主要地方道盛岡環状線 滝向地区道路改良事業（滝沢市滝向）	15

令和7年度 盛岡広域振興局土木部の業務概要

1 盛岡広域振興局土木部の組織

(R7.4.1現在)

土 木 部	部 長		1名
	管理用地室	管理課、用地課	19名
	道路都市室	道路整備課、道路環境課	19名
	流域治水室	河川砂防課、網取ダム管理事務所	15名
	建築住宅室	建築指導課、住宅課	6名
	土木企画グループ		3名
土木部合計			63名
岩手土木センター			23名

2 盛岡広域振興局管内の予算概要(R07 県土整備部関係公共事業費:政策Ⅰ)

(百万円)

圏 域	所 属	R07年度 当初	R06年度 当初	増 減	増 減 率
盛 岡 広 域	盛岡土木部	5,555	6,313	▲ 758	-12.0%
	岩手土木センター	3,208	3,397	▲ 189	-5.6%
盛岡広域計		8,763	9,710	▲ 947	-9.8%
岩手県合計		77,280	72,480	4,800	6.6%

3 盛岡広域振興局所管の概要

(1)概 要

	盛 岡 土 木 部 所 管	岩 手 土 木 セ ン タ ー 所 管	参 考 (県 全 体)
市 町 村	2市 3町 盛岡市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町	1市 2町 八幡平市、岩手町、葛巻町	14市 15町 4村
面 積	約 1,984km ² 県全体 13.0%	約1,658km ² 県全体 10.9%	約15,275km ²
人 口	408,838人 県全体 35.7%	38,355人 県全体 3.6%	1,144,407人

※出典:面積 全国都道府県市区町村別面積調(R7.1)
岩手県人口移動報告年報(R6.10.1)

(2)管理施設

道 路	盛 岡 土 木 部 所 管	岩 手 土 木 セ ン タ ー 所 管	参 考 (県 全 体)
一 般 国 道	106、282、396、455、456号	281、282、340号	19路線
	延 長 改 良 率 県 全 体 延 長 の	延 長 改 良 率 県 全 体 延 長 の	
	135.0km 100% 10.9%	119.5km 100% 9.6%	1242.1km
主 要 地 方 道	盛岡横手線 ほか7路線	二戸五日市線 ほか4路線	50路線
	延 長 改 良 率 県 全 体 延 長 の	延 長 改 良 率 県 全 体 延 長 の	
	143.0km 94.3% 10.8%	102.7km 95.2% 7.8%	1,318.1km
一 般 県 道	日詰停車場線 ほか34路線	藪川川口線 ほか8路線	195路線
	延 長 改 良 率 県 全 体 延 長 の	延 長 改 良 率 県 全 体 延 長 の	
	236.2km 88.4% 14.4%	114.2km 88.3% 7.0%	1,642.7km
計	全48路線	全18路線	全264路線
	514.2km 12.2%	336.4km 8.0%	4,202.6km

※出典:岩手の道路現況 R3.4.1現在

河 川	盛 岡 土 木 所 管	岩 手 土 木 セ ン タ ー 所 管	参 考 (県 全 体)
一 級 河 川	知事管理 38河川	知事管理 29河川	205河川
	総延長 322.8km 17.4%	総延長 275.9km 14.9%	1,853.3km

※河川データ:R4.3現在(2級河川を含む)

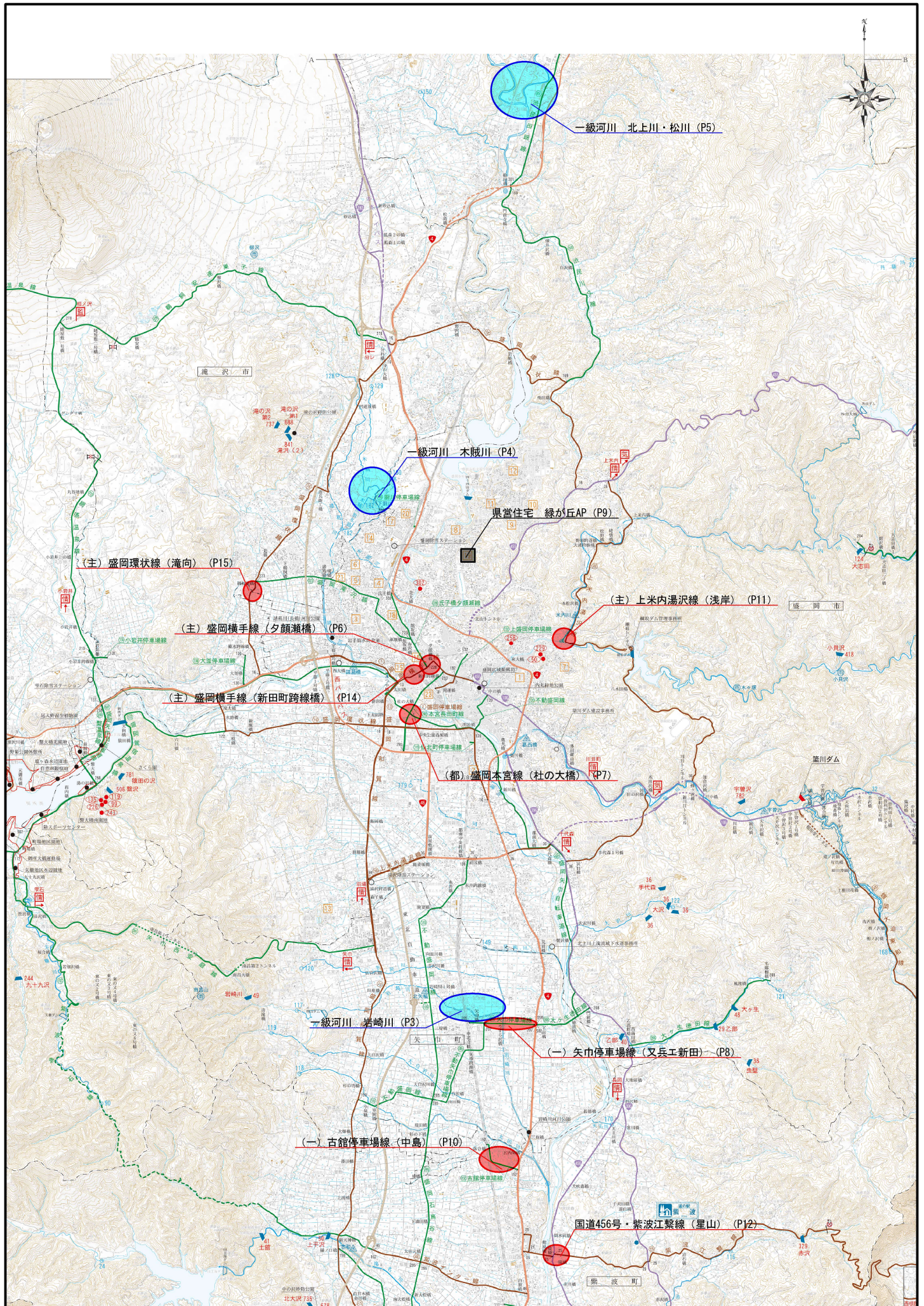
砂 防 等	盛 岡 土 木 所 管	岩 手 土 木 セ ン タ ー 所 管	参 考 (県 全 体)
土砂災害警戒区域	867 箇所 6.5%	739 箇所 5.6%	13,305箇所

※砂防等データ:R4.3現在

住 宅	盛 岡 土 木 所 管	岩 手 土 木 セ ン タ ー 所 管	参 考 (県 全 体)
管理戸数	3,126 戸 45.3%	-	6,894戸
入 居 率	72.8%	-	

※住宅データ:R6.8現在

盛岡土木部主要事業位置図



1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	① 岩崎川 広域河川改修事業 (床上浸水対策特別緊急事業)
-------------------------	--------------------------------------	----------------------------------

一級河川岩崎川広域河川改修事業

事業名 広域河川改修事業 一級河川岩崎川

施行場所 北上川合流点 から 県道不動盛岡線 まで
(芋沢川合流点から県道不動盛岡線までの区間は床上浸水対策特別緊急事業により実施)

事業期間 平成4年度～令和19年度 (1992～2037年度)

目的 岩崎川は、平成4年度から河川改修事業に着手しているが、岩手医科大学付属病院等をはじめ、周辺の市街化、資産の集中が進んでいる。このような状況の中、平成25年8月の出水により岩崎川が氾濫し、沿川において382戸の家屋浸水被害が発生した。このため、芋沢川合流点より上流区間において床上浸水対策特別緊急事業を導入し河川改修を進め、令和2年度に県道不動盛岡線までの河川改修が完了した。今後は、支川の太田川、芋沢川の改修を進めることとしている。

全体計画 ・全体延長 L=11.94km (岩崎川 7.94km 太田川 1.6km 芋沢川 2.4km)
・全体事業費 ΣC=20,414 百万円

計画諸元 ・流域面積 68.9 km² ・計画高水流量 520 m³/s (整備目標: 1/30)

事業進捗状況

単位: 百万円

区分	全体額	R5迄	R6	R7	R8以降	進捗率 (事業費ベース)
全体事業費	20,414	15,803	70	0	4,541	77.8%
うち広域	9,980	6,727	70	0	3,183	
うち住関公	4,320	4,320	-	-	-	
うち床上	6,114	4,756	-	-	1,358	

事業実施

- ・令和3年度 水位周知河川指定、浸水想定区域指定
- ・令和4年度まで 用地補償、河道掘削、護岸工、橋梁工ほか
- ・令和5年度 修正設計 (令和4年度繰越予算)
- ・令和6年度 補償調査、用地買収
- ・令和7年度 補償調査、用地買収
- ・令和8年度以降 用地補償、河道掘削、護岸工、橋梁工



浸水被害状況 (平成25年8月)



完成区間状況 (令和3年3月)

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	② 木賊川 広域河川改修事業
-------------------------	--------------------------------------	----------------

とくさがわ
一級河川木賊川広域河川改修事業

事業名 基幹河川改修事業 一級河川木賊川
 施行場所 滝沢市 穴口 地内ほか
 事業期間 昭和 61 年度～令和 19 年度（1986～2037 年度）
 目的 木賊川では、平成 14 年 7 月洪水など浸水被害が度々発生しているが、沿川に家屋等が密集しているため河道拡幅に時間を要することから、市街地上流部において、遊水地や分水路の整備を先行し、下流市街地の治水安全度を高める計画としている。また、遊水地予定地内は自然環境が豊かであることから、有識者の意見を踏まえ、生物の保全対策を実施しながら整備を進めている。



（平成 14 年 7 月 台風 6 号）

全体計画 ・全体延長 L=6,000m
 ・全体事業費 ΣC=13,748 百万円
 計画諸元 ・流域面積 20.9 km² （整備目標：1/50）

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R5 迄	R6	R7	R8 以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	13,748	6,334	200	30	7,184	47.7%

事業実施

- ・令和 5 年度まで 遊水地工事（護岸工、分土工、洪水吐基礎工ほか）、設計・猛禽類モニタリング等
- ・令和 6 年度 遊水地工事（洪水吐・締切堤基礎工）、猛禽類モニタリング等
- ・令和 7 年度 遊水地工事（洪水吐・締切堤基礎工）、猛禽類モニタリング等
- ・令和 8 年度以降 遊水地工事、河川改修工事



1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(1) 河川の氾濫による浸水被害等を 未然に防止する河川施設の整備	③ 北上川下流広域河川改修事業
-------------------------	--------------------------------------	-----------------

一級河川北上川・松川広域河川改修事業

事業名 広域河川改修事業 一級河川北上川（下流）

施行場所 盛岡市 玉山 地内

目的 北上川及び支川の松川では、平成 25 年 9 月の台風第 18 号豪雨により浸水被害（床上浸水 20 戸、床下浸水 66 戸、計 86 戸）が発生したことから、河川改修事業を導入し、河道拡幅や築堤等の治水対策を進めている。また、ソフト対策として水位周知河川や洪水浸水想定区域を指定し、住民の避難に資する情報提供を行っている。

事業期間 平成 27 年度～令和 25 年度（2015～2043 年度）

全体計画 ・全体延長 L=16.0km（北上川 9.7km+松川 6.3km）

・全体事業費 Σ C=3,108 百万円

計画諸元 ・流域面積 1,078.5k m²

・計画高水流量 北上川 1,070m³/s 松川 740 m³/s （整備目標：1/20）

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R5 迄	R6	R7	R8 以降	進捗率（事業費ベース）
事業費	3,108	1,187	370	0	1,551	50.1%

事業実施

・令和 4 年度まで 設計、用地測量、用地補償、河道掘削、築堤、護岸工、樋門工

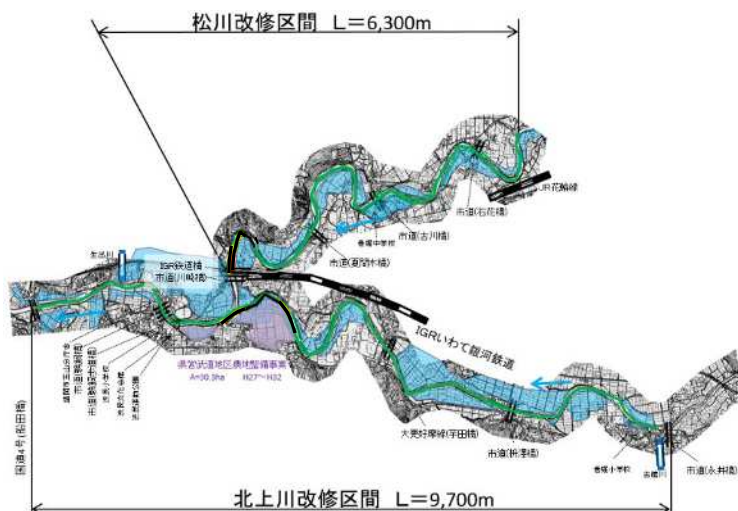
・令和 5 年度 【松川】河川改修工（R4 補正含）

・令和 6 年度 【松川】河川改修工（R5 補正含）

・令和 7 年度 【松川】河川改修工（R6 補正含）

修正設計

・令和 8 年度以降 設計、用地測量、用地補償、河川改修工事



被災状況（平成 25 年 9 月 松川）



令和 5 年度松川整備状況（令和 6 年 3 月）

1 過去の教訓を踏まえた 防災対策の推進	(2) 緊急輸送道路等の橋梁耐 震補強の推進	① 主要地方道盛岡横手線 夕顔瀬橋橋梁補強事業
-------------------------	---------------------------	----------------------------

主要地方道 盛岡横手線 夕顔瀬橋 橋梁補強事業

事業名 道路環境改善事業（橋梁補修・補強）
 施行場所 盛岡市 材木町 地内
 事業期間 令和4年度～令和8年度
 目的 主要地方道盛岡横手線は、岩手県盛岡市から秋田県横手市に至る重要な路線であり、緊急輸送道路に指定されている。本橋は平成5年に現在の形式に架け替えが行われたものであり、橋脚の耐震補強、支承部の補強を行うことで耐震性能の向上を図り、安全性を確保するものである。

全体計画 ・全体延長 L = 93.0 m ・事業費 Σ C = 500 百万円
 ・主な工種：橋脚補強工、支承部補強工、落橋防止工

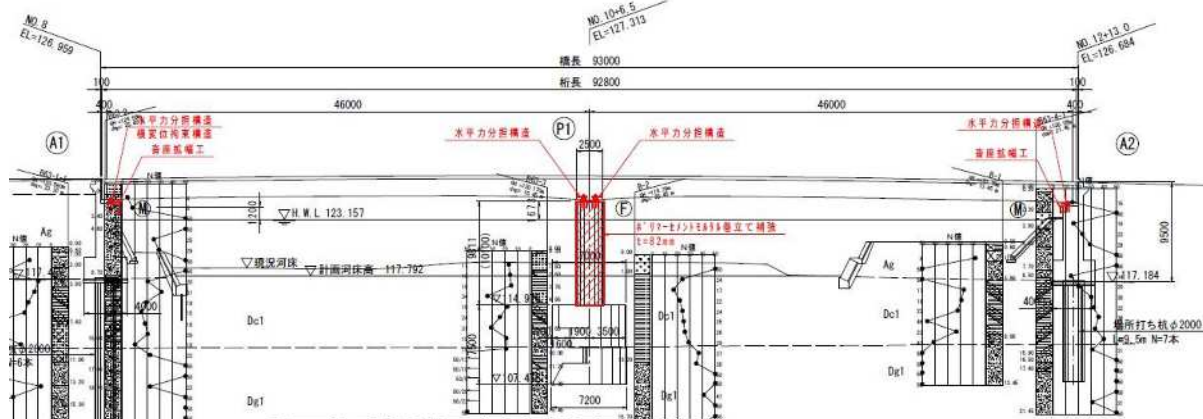
計画諸元 交通量（R3調査）：自動車 15,641 台／日（うち大型車 2,281 台／日）

事業進捗状況 単位：百万円

年 度	全体額	R 6 迄	R 7	R 8 以降	備 考
事業費	500	95	285	120	

事業実施 令和6年度まで 詳細設計、仮設工、橋脚補強工
 令和7年度以降 仮設工、橋脚補強工、支承部補強工、落橋防止工

側面図 S=1:300



工事着手前



橋脚補強工事（R6施工分）

2 安心・快適な都市環境・ 生活環境の整備	(1) 市街地の円滑な 交通の確保	① 都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区 街路事業
--------------------------	----------------------	--------------------------------

都市計画道路 盛岡駅本宮線 杜の大橋地区 街路事業

事業名 街路 都市計画道路整備事業（防災安全交付金）
 施行場所 盛岡市盛岡駅西通二丁目～本宮字荒屋 地内
 事業期間 平成 23 年度～令和 8 年度
 目的 増加する交通量やバスの定時性・迅速性の確保に対応し円滑な交通を図るため、
 暫定 2 車線としていた道路の 4 車線化整備を行う。

全体計画 全体延長 L=919m W=23.0m～29.0m
 事業費 ΣC=5,500 百万円

計画諸元 交通量 19,200 台/日

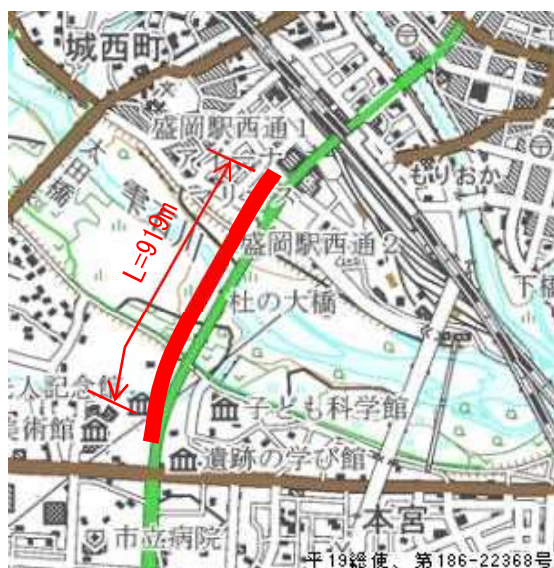
事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R5 迄	R6	R7	R8 以降	備考
事業費	5,500	3,988	1,033	400	79	

事業実施

- ・令和 5 年度迄 環境調査、修正設計、中央公園高架橋工事、上部工工事
- ・令和 6 年度 上部工工事、橋面工事、照明工事、融雪装置工事
- ・令和 7 年度 橋面工事、照明工事、融雪装置工事、4 車線切替工事
- ・令和 7 年度以降 橋面工事、照明工事、融雪装置工事、4 車線切替工事



上部工施工状況（令和 6 年 11 月撮影）

2 安心・快適な都市環境・ 生活環境の整備	(1) 市街地の円滑な 交通の確保	④ 一般県道矢巾停車場線 又兵工新田地区無電柱化推進事業
--------------------------	----------------------	---------------------------------

一般県道矢巾停車場線 又兵工新田地区 無電柱化推進事業

事業名 道路環境改善事業（無電柱化推進）
 施行場所 矢巾町 又兵工新田地内
 事業期間 令和2年度～令和12年度
 目的 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策（H30.12.14閣議決定）」により無電柱化を推進するもの。電柱が倒壊し、交通が遮断されるおそれがあることから、電柱で架空配線している設備を地中の電線共同溝に集約し、無電柱化を図ることにより確実な交通機能を確保するものであり、併せて歩道に消融雪施設を導入し、冬季の快適な歩行空間を整備するものである。

全体計画 ・延長 L=2,270 m （道路延長 L=1,135 m）
 ・全体事業費 ΣC=2,000 百万円

計画諸元 交通量（R3 調査）
 自動車 12,230 台/日、歩行者 183 人/12h、自転車 222 台/12h

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R 6 迄	R 7	R 8 以降	備考
事業費	2,000	1,038	100	862	

事業実施

- ・令和6年度迄 電線共同溝詳細設計、NTT 施設譲渡契約
消融雪施設詳細設計、電線共同溝工事
- ・令和7年度 電線共同溝工事
- ・令和8年度以降 電線共同溝工事、融雪設備工事



（令和7年3月撮影）

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(2) 高齢化社会に対応した 県営住宅の建替え・ 改善の推進	① 公営住宅建設事業 (県営緑が丘アパートリフレッシュ 工事)
----------------------	--------------------------------------	---------------------------------------

公営住宅建設事業（県営緑が丘アパートリフレッシュ工事）

事業名	公営住宅建設事業
施行場所	盛岡市 緑が丘三丁目地内
目的	既設の県営住宅において、設備機器の更新（配管等の更新、ユニットバスの設置、3ヶ所給湯等）、内装の更新、バリアフリー等、居住性の向上を図る事業である。
事業期間	令和6年度～令和12年度
全体計画	1号棟～4号棟 鉄筋コンクリート造3階建、4階建 全82戸
全体事業費	1,414,051千円
事業進捗状況	単位：千円

年度	全体額	R6	R7	R8以降	備考
事業費	1,414,051	6,028	61,109	1,346,914	交付金事業

事業実施

令和6年度	設計	1号棟		
令和7年度	設計	3号棟	工事	1号棟
令和8年度以降	設計	2、4号棟	工事	1～4号棟

【実施例】 県営銅谷アパート1号棟（令和6年10月完成）



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	① 一般県道 古館停車場線 中島地区交通安全施設整備事業
----------------------	--------------------	---------------------------------

一般県道 古館停車場線 中島地区 交通安全施設整備事業

事業名 道路環境改善事業（交通安全施設整備）
 施行場所 紫波町中島地内
 事業期間 令和3年度～令和10年度
 目的 当該地区は、古館駅に繋がる本路線の落合橋を含む一部区間において、歩道が未整備または狭隘区間となっていることから、町が行うロータリ整備と併せて整備し、歩行者の安全を確保するものである。

全体計画 ・延長 L=210 m（内歩道橋 L=19m） ・歩道幅員 W=5.5(7.0)m+2.5m
 ・全体事業費 ΣC=155 百万円

計画諸元 交通量（R3 調査）
 自動車 5,411 台/日（うち大型車 423 台/日）、歩行者 286 人/12h、自転車 136 台/12h

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R 6 迄	R 7	R 8 以降	備考
事業費	281	251	30	0	

事業実施

- ・令和6年度迄 地質調査・詳細設計・用地測量・用地調査・歩道橋設置工事
- ・令和7年度 歩道設置工事、道路台帳整備
- ・令和8年度以降 （令和7年度完了予定）

<位置図>



<現況写真>



(令和6年5月撮影)

2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	② 主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区交通安全施設整備事業
----------------------	--------------------	---------------------------------

主要地方道上米内湯沢線 浅岸地区 交通安全施設整備事業

事業名 道路環境改善事業（交通安全施設整備）
 施行場所 盛岡市 浅岸地内
 事業期間 令和4年度～令和8年度
 目的 当該地区は、山岸小学校の通学路にも指定されているが、一部歩道が未整備であり、歩行者が危険な状況となっていることから、歩道を整備し、歩行者の安全を確保するものである。

全体計画 ・延長 L=280 m ・歩道幅員 W=2.5 m
 ・全体事業費 ΣC=208 百万円

計画諸元 交通量（R3調査）
 自動車 2,148 台/日（うち大型車 339 台/日）、歩行者 32 人/12h、自転車 36 台/12h

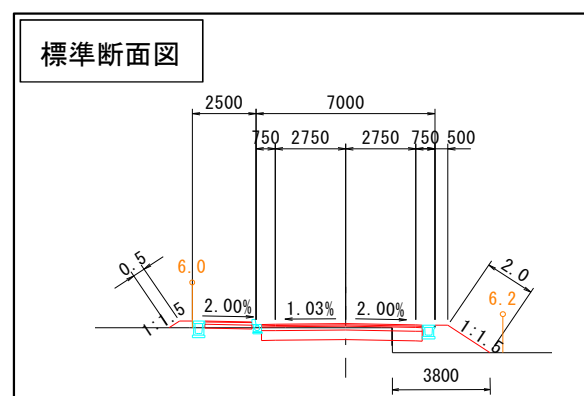
事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R 6 迄	R 7	R 8 以降	備考
事業費	208	80	48	80	

事業実施

- ・令和6年度迄 測量・詳細設計、用地測量、用地取得
- ・令和7年度 用地取得、物件補償
- ・令和8年度以降 物件補償、歩道設置工事



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(3) 歩道整備や歩行空間確保の推進	③ 一般国道 456 号・主要地方道紫波江繋線星山地区道路改良事業
----------------------	--------------------	-----------------------------------

一般国道 456 号・主要地方道紫波江繋線 星山地区道路改良事業

事業名 社会資本整備総合交付金（広域連携事業）（観光）

施行場所 紫波郡紫波町星山地内

目的 一般国道 456 号は、盛岡市を起点とし宮城県気仙沼市へ至る延長約 150km の主幹線道路であり、地域形成型広域道路に位置付けられているほか、緊急輸送道路に指定され、物流・交流連携路線として重要な役割を担っている。

また、主要地方道紫波江繋線は、紫波町日詰を起点とし宮古市江繋へ至る延長約 58km の幹線道路であり、地域形成型広域道路に位置付けられ、早池峰山への主要なアクセス道路であるとともに、地域の生活道路として重要な役割を担っている。

しかしながら、当該箇所は紫波江繋線が 456 号と食い違い交差となっており右折車線が未整備であることに加え、紫波東学園の通学路であるにもかかわらず車道・歩道・路肩幅員が狭小で一部区間は歩道が未整備であるため、歩行者や車両の安全で円滑な通行の支障となっている。

このことから、食い違い交差を解消し右折車線を整備するとともに所要の車道・歩道・路肩幅員を確保し、安全で円滑な交通の確保を図るものである。

事業期間 平成 28 年度～令和 7 年度（令和 6 年 2 月 16 日掛け違い交差点解消）

全体計画 L=1,540m（456 号：L=570m、W=6.5m(14.5m)、紫波江繋線：L=970m、W=6.0m(11.5m)）

計画諸元 交通量 456 号 5,688 台/日、第 3 種 2 級、設計速度 V=50km/h

紫波江繋線 1,305 台/日、第 3 種 3 級、設計速度 V=40km/h

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R5 迄	R6	R7	備 考
事業費	1,360	989	237	170	

事業実施

- ・令和 5 年度迄 道路測量設計、用地補償調査、用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事
- ・令和 6 年度 道路改良工事、舗装工事
- ・令和 7 年度 道路改良工事、舗装工事、道路台帳補正

写真

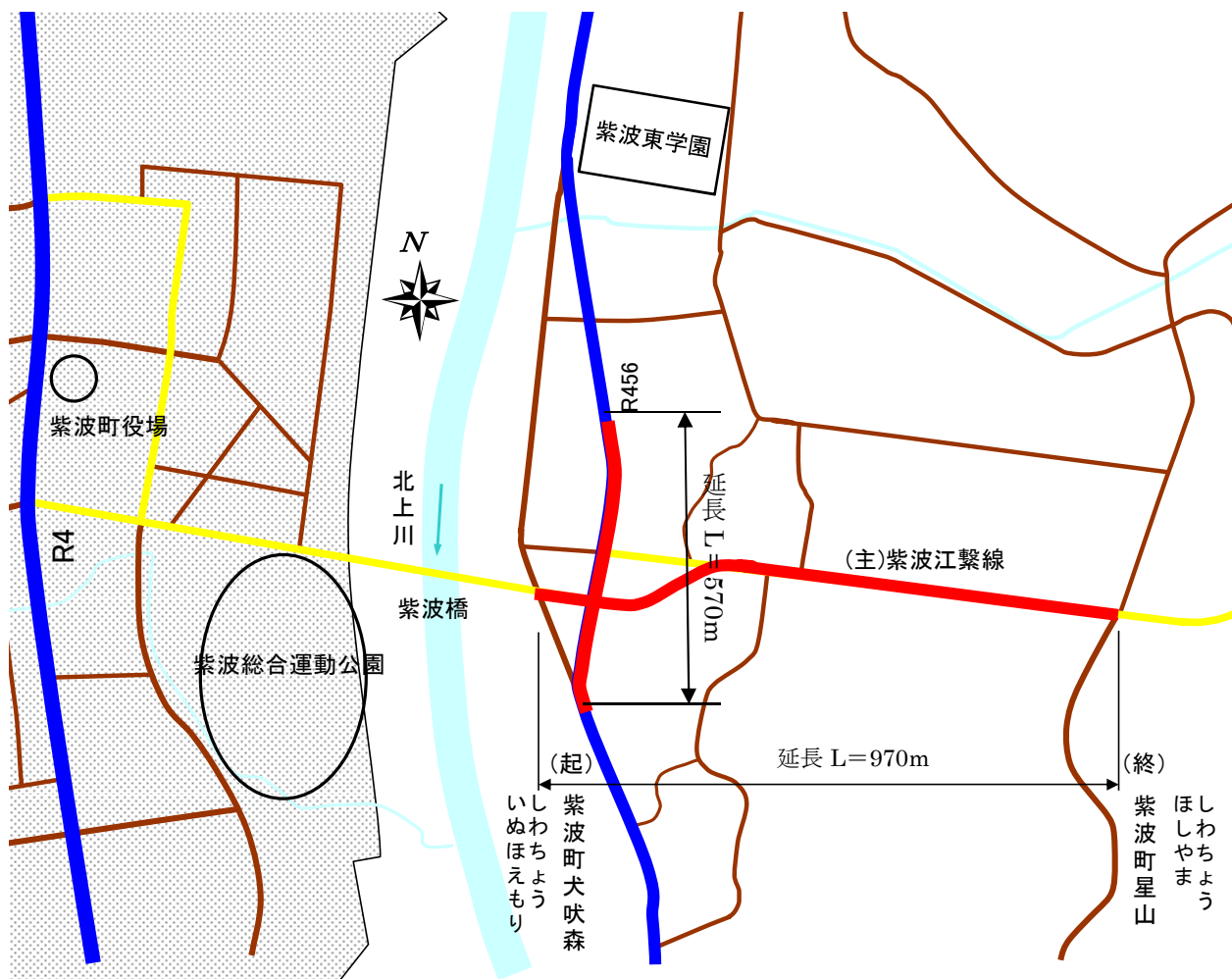


国道 456 号方向から県道改良部望む（令和 6 年 12 月撮影）



掛け違い交差点解消状況を望む（令和 6 年 2 月撮影）

【位置図】



2 安心・快適な都市環境・生活環境の整備	(4) 過去に整備された橋梁の長寿命化の推進	① 主要地方道盛岡横手線 新田町跨線橋橋梁補修事業
----------------------	------------------------	------------------------------

主要地方道 盛岡横手線 新田町跨線橋 橋梁補修事業

事業名 道路環境改善事業（橋梁補修）
 施行場所 盛岡市 新田町 地内
 事業期間 令和2年度～令和7年度
 目的 主要地方道盛岡横手線は、岩手県盛岡市から秋田県横手市に至る重要な路線であり、緊急輸送道路に指定されている。本橋は JR 東北本線等の横断のため架けられたものである。このことから、老朽化に伴う鉄道への影響を回避し、また、災害発生後の救助・救援活動や緊急物資輸送などを迅速かつ的確に行うため、老朽化対策を行い、安全性を確保するものである。

全体計画 ・全体延長 L = 226.36 m ・事業費 Σ C = 1,300 百万円
 ・主な工種：伸縮装置取替、橋面防水、橋面舗装、地覆補修、防護柵補修、
 支承防錆、上面増厚、橋脚補修、橋台補修、JR 協定工事

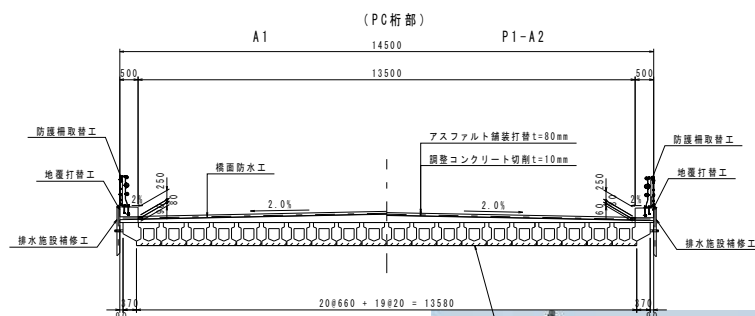
計画諸元 交通量（R3 調査）：自動車 19,110 台／日（うち大型車 1,859 台／日）

事業進捗状況 単位：百万円

年 度	全体額	R 6 迄	R 7	R 8 以降	備 考
事業費	1,300	1,088	70	0	

事業実施 令和3年度迄 補修設計、橋脚補修、橋台補修
 令和4～6年度 伸縮装置取替、橋面防水、橋面舗装、地覆補修、防護柵補修、
 支承防錆、上面増厚、橋脚補修、橋台補修、JR 協定工事
 令和7年度 防護柵取替工（令和7年度完了予定）

標準断面図 S=1:80



3 産業経済活動を支える交通 ネットワーク整備	(1) 県央圏域内外との交流を促 進するネットワークの整備	① 主要地方道盛岡環状線 滝向地 区道路改良事業
----------------------------	----------------------------------	-----------------------------

主要地方道盛岡環状線 滝向地区道路改良事業

事業名 防災・安全交付金（通常・強靱化）

施行場所 滝沢市滝向地内

目的 本路線は、盛岡都市圏の環状道路であり、緊急輸送道路に指定され、一般国道4号を補完する物流路線であるとともに、八幡平市と小岩井農場等の観光地を結ぶ観光路線としての重要な役割を担っていることに加え、当該区間の近隣には、滝沢市役所や滝沢市交流拠点複合施設、滝沢南中学校などの公共施設が立地している。

しかしながら、当該区間は車道、歩道、路肩幅員が狭小であるとともに、小さな平面・縦断線形が連続した線形となっており、さらに沿道に家屋が近接して建ち並んでいることから見通しが悪く、車両及び歩行者等の安全性が確保されていない状況にある。

このため、通学路における歩行者等の安全性及び走行車両の快適性の向上、公共施設へのアクセス性の向上により、安全で円滑な交通と歩行者の安全な通行の確保が図るものである。

事業期間 令和2年度～令和11年度

全体計画 計画延長 L=950m、計画幅員 W=6.5(14.5)m、両側歩道

事業進捗状況

単位：百万円

年 度	全体額	R5 迄	R6	R7	R8 以降	備 考
事業費	1,530	119	284	363	764	

事業実施

- ・令和5年度迄 道路測量設計、用地補償調査
- ・令和6年度 用地補償
- ・令和7年度 用地補償
- ・令和8年度以降 用地補償、道路改良工事

写 真



【位置図】

